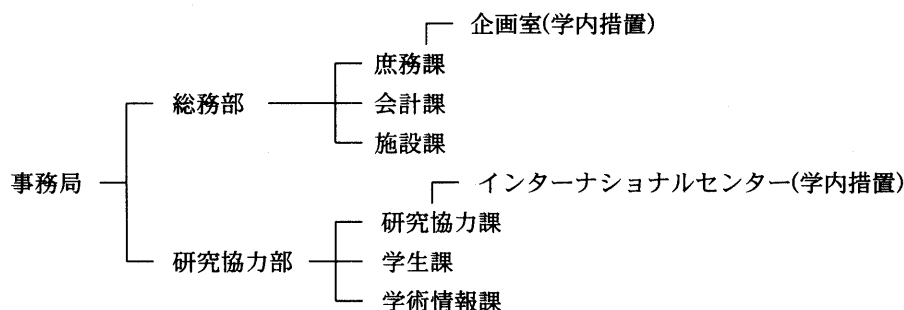


第7章 事務局

Handwritten text, possibly a signature or name, located in the center of the page.

事務局

事務局組織図(平成13年4月1日)



1. 創設準備事務

平成元年5月に先端科学技術大学院大学(奈良)の創設準備室が大阪大学内に設置され、更に、平成3年4月から奈良先端科学技術大学院大学創設準備室(総主幹、総務主幹、施設主幹)に改組され創設準備に当たった。

2. 事務局設置

平成3年10月1日に本学開学と同時に事務局が設置され、総務課、施設課の体制で発足。更に、平成4年4月10日付けで総務課が廃止され、庶務課、会計課に、新たに学生課、学術情報課が設置された。その後、平成5年4月1日付けで総務部(庶務課、会計課、施設課)及び研究協力部(研究協力課、学生課、学術情報課)の2部6課制による組織に整備され今日に至っている。

3. 事務局の整備

本学では、開学以来事務の一元化を推し進めてきたが、大学事務の高度化、専門的知識を有する事務官による教育研究支援の強化に加え、重要課題に関する企画立案、学内外の連絡調整などの機能が求められるようになってきていることから、次のような取組を実施してきている。

(1) 事務組織の整備

事務局各課の体制を強化し、専門性、企画立案機能の強化を図るため、平成8年度から計画的に専門員、専門職員などの増員を図ってきた。

平成8年4月1日	研究協力課に専門職員(研究情報担当、研究助成担当)
平成9年4月1日	庶務課に専門職員(企画調整担当) 会計課に専門職員(契約担当) 学生課に専門職員(厚生担当、入試担当)
平成10年4月1日	研究協力課に専門職員(研究事業担当、産学連携担当)
平成11年4月1日	庶務課に専門職員(情報科学研究科事務担当、バイオサイエンス研究科事務担当、物質創成科学研究科事務担当) 研究協力課に専門職員(学術支援担当、国際交流担当) 学生課に専門職員(教育課程担当、学籍管理担当) 学術情報課に専門職員(情報処理担当、著作権・DB構築担当)
平成12年4月1日	庶務課に専門員(大学改革担当)と専門職員(秘書担当、サービス担当)
平成13年4月1日	会計課に専門員(契約担当)

(2) 事務局の国際化

外国人招へい研究者、外国人訪問者、外国人留学生及び外国の大学との学術交流締結数の増加に伴い、体制の整備と職員の養成を行ってきた。

平成10年度～	事務職員の海外研修
平成10年度～	放送大学を活用した英語研修の実施
平成11年度～	実践的な英会話研修の実施
平成11年度～	インターナショナルセンターの設置(学内措置)

(3) 学長補佐体制の強化

学長がリーダーシップを発揮するため、企画立案及び学内外の連絡調整などの強化を図ってきた。

平成 9年度	学長懇談会の設置
平成11年10月1日	庶務課に企画室を設置(学内措置)
平成12年 4月1日	庶務課に専門職員(秘書担当)
平成13年度	事務局各課補佐クラスによるプロジェクトチーム結成

(4) 事務合理化、適正化

電子メールによる事務連絡、電子情報による行事予定、その他の事務情報化、出張命令決裁手続の簡素化、旅費の口座振込等の事務簡素化による事務の合理化を行うとともに、定例的な業務についての効率化を図るなど事務の合理化、適正化を順次進めてきている。

(5) 技術系職員の体制整備

教室系技術職員については、研究協力部研究協力課の所属の下に情報科学技術区、バイオサイエンス技術区と物質創成科学技術区を設け、それぞれの教育研究の支援を円滑かつ効果的に行っている。

(文責 岩本拓水)